

パソコン教室の窓から(77)

NPO 法人コミュニティ NET ひたち(Cnet)久保裕

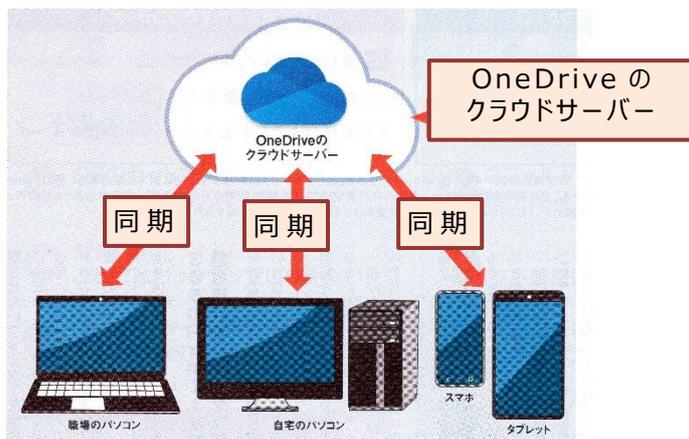
Microsoft のクラウド OneDrive を快適に使う

一年前にパソコンを新規に購入し、Microsoft 365 Personal を年間利用契約して Office(Word、Excel、PowerPoint など)を利用している。年間料金は 14,900 円で、バージョンアップは無料でしてくれる。従来は3年毎には Office の新規バージョンを購入していたから、料金的には少々高いだけで、自動的にアップしてくれるだけ有難い。

従来の Windows11 で、Microsoft のクラウド・サービス OneDrive が搭載されていたが、上手く使いこなせなかった。そこで新規パソコンでは OneDrive-個人用 でパソコンとクラウドをしっかりと接続して、「ドキュメント」「ピクチャ」「デスクトップ」等のフォルダーをクラウドに置いて、快適に使用している。おかげで、新旧2台のパソコン、そしてスマホやタブレットともフォルダーが共用出来て、まことに便利である。外出先でも WiFi 接続環境があれば、ファイルが共用できるから、USB メモリーに入れて持ち運ばずに Microsoft の ID とパスワードがあれば、すぐにつながる。自分のスマホやタブレットであれば最初に Microsoft の ID やパスワードを設定しておけば、インストールされている OneDrive や Office のアイコンを押せばすぐに開くことができる。もちろんファイルは Microsoft のクラウドに入れてあるから、バックアップの心配は不要になる。

OneDrive を使いこなすカギは、自分の「Microsoft の ID とパスワード」の使い方をしっかり押さえておくことである。OneDrive が使いこなせない、あるいは勝手にクラウドと同期して強制的に使われる、メモリー容量が足りないとか不満を持っている人が多い。Microsoft 365 Personal を契約すれば 1TB が使える。まだ私は 100GB ぐらいしか使っていない。一般の個人ユーザでは、Microsoft 365 Personal を契約することをお勧めする。

パソコンが壊れても、大事なデータは全部クラウドに残っている。



OneDrive のベストな対処方法については、
詳細は『日経 PC21』2024 年 8 月号を参照下さい。

